

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【公開番号】特開2010-133562(P2010-133562A)

【公開日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2009-275094(P2009-275094)

【国際特許分類】

F 16 C 17/10 (2006.01)

F 16 C 33/74 (2006.01)

F 16 C 33/10 (2006.01)

H 02 K 5/16 (2006.01)

H 02 K 7/08 (2006.01)

【F I】

F 16 C 17/10 A

F 16 C 33/74 Z

F 16 C 33/10 Z

H 02 K 5/16 Z

H 02 K 7/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月30日(2012.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固定構成要素に対して回転可能な回転可能な構成要素と、

前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間を流れるように動作可能な流体と、

前記流体を前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間に送り出すように構成された

少なくとも1つのテーパを付けられたスロットを含む毛細管シール構成要素とを備え、前

記少なくとも1つのテーパを付けられたスロットが第1の端部及び第2の端部を備え、前

記第1の端部における前記少なくとも1つのテーパを付けられたスロットの幅が前記第2

の端部における幅とは異なっている、モータ。

【請求項2】

固定構成要素に対して回転可能な回転可能な構成要素と、

前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間を流れるように動作可能な流体と、

前記流体を前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間に送り出すように構成された

少なくとも1つのテーパを付けられたスロットを含む毛細管シール構成要素とを備え、前

記毛細管シール構成要素が複数のリブを含む、モータ。

【請求項3】

固定構成要素に対して回転可能な回転可能な構成要素と、

前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間を流れるように動作可能な流体と、

径向外向きに螺旋状になり前記流体を前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間

に送り出すように構成された少なくとも1つのテーパを付けられたスロットを含む毛細管

シール構成要素とを備える、モータ。

【請求項4】

前記第1の端部における前記少なくとも1つのテープを付けられたスロットの高さが前記第2の端部における高さとは異なっている、請求項1から3のいずれかに記載のモータ。

**【請求項5】**

前記毛細管シール構成要素が複数のリブを含む、請求項1または3に記載のモータ。

**【請求項6】**

前記少なくとも1つのテープを付けられたスロットが径方向外向きに螺旋状になっている、請求項2または3に記載のモータ。

**【請求項7】**

前記毛細管シール構成要素が少なくとも1つの換気穴を含む、請求項1から6のいずれかに記載のモータ。

**【請求項8】**

前記毛細管シール構成要素が複数のテープを付けられたスロットを含む、請求項1から6のいずれかに記載のモータ。

**【請求項9】**

前記毛細管シール構成要素が、前記毛細管シール構成要素の軸方向に延出する表面上に配置されたリブを含む、請求項1から6のいずれかに記載のモータ。